

# 市議会 だより

発行 / 由利本荘市議会

編集 / 議会報編集特別委員会

〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地

電話 / 0184-24-6386 FAX / 0184-27-1793

Eメール gikai@city.yurihonjo.akita.jp



かわいい園児が大ハッスル!

(6月27日、ひかり保育園運動会)

## 平成22年 第2回市議会定例会(6月)

過疎地域特措法見直し、住宅リフォーム助成事業など.....	9議員が一般質問	2P
定住自立圏関連事業、上水道料金改定など.....	常任委員会報告	8P
一般会計補正予算5億8483万9千円を増額.....	補正予算など	10P
審査報告の概要の公表.....	政治倫理審査会	13P
『今、農業に何が!』.....	市民の声	14P

## 市政に 対する

# 一般質問

一般質問は6月4日・7日の2日にわたって行われ、9人の議員が市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をただしました。各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。  
内容は、6月現在のものです。

## 農村資源を生かした 起業家育成と定住対策は

会派 グループ創風  
堀川 喜久雄 議員



る。東京近郊のふるさと会と連携し、交流人口を増やしたい。

**質問** 学校の統合計画の進捗状況は。

**答弁** 平成23年度予定の東由利地域、25年度予定の鳥海地域、26年度予定の岩城・松ヶ崎地域の作業を進めている。北内越地区と大内地域は一昨年から住民説明会を行っている。

**質問** 航空便の減便化に伴う対策は。

**答弁** 自動車産業や航空機産業の地元企業もあり、地域経済への影響が心配される。今後も路線存続や運行便数の確保に向け、県や周辺自治体、関係機関と連携し取り組む。

**質問** 市指定金融機関の評価と今後の方向は。

**答弁** JA秋田しんせいは、公金事務取り扱い時間を市の勤務時間に合わせ、また、全総合支所に窓口を設置するなど、一定の評価ができる。市民サービスの維持向上、資金運用などの公的資金管理の面から今後も検討を重ねていく。

## 過疎地域特措法の 見直しから

会派 市民ネット

長 沼 久 利 議員



**質問** 過疎地域特措法の見直しから「定住自立圏構想との関連性」と財政支援は。

**答弁** 過疎債のソフト事業、定住自立圏構想どちらも目的は同一視しているので、「定住自立圏共生ビジョン事業」の財源として過疎債の充当も可能と考える。財政面でのソフト事業の本市限度額は約3億円と見込んでいる。

**質問** 権限移譲による事務事業増加の中で、市職員定員管理適正化計画との整合性は。

**答弁** 国の出先機関の見直しに伴う権限移譲の直接的影響はない。県については、権限移譲プログラムに基づいて進めているが、現在の定員管理適正化計画には反映されていない。専門的な技術や資格を有する職員が必要な場合などは、県からの派遣や新規採用で適宜対応する。

**質問** 入札制度の改正点と公共事業の地元業者育成の視点に立った考えから、市内に本店を有する事業者への優先発注の必要性は。

**答弁** これまでの指名競争入札は合併当初、旧市町の指名方針を引き継いでブロック分けしてきたが、今年度から市内全域とした。

地元業者育成については、市内業者を最優先した指名競争入札、または条件付き一般競争入札を行っている。また、

下請け施工、建設資材、建設機械の購入、リースなども可能な限り市内業者へ発注を要件としている。

地元業者優先発注の必要性は感じているが、市内営業所なども市内業者として扱っている。現在、県内の状況を調査しているが、結果を踏まえ、来年度の入札参加資格の定期審査に併せ検討していく。



**質問** 農村資源を生かした起業家育成と定住対策は。

**答弁** 地域ブランド形成作目等生産事業で、起業や就農の波及効果を期待している。また、地域資源調査を基に、実践プラン策定を国際教養大学と連携し支援する。

**質問** 空き家対策と再利用策は。

**答弁** 空き家の発生は、景観防犯などの問題発生の可能性がある。空き家銀行は他地域の取り組みを調査しながら検討する。

**質問** 農家民宿と観光振興策は。

**答弁** 整備費用の一部助成対象の個人・団体を公募してい

## 住宅リフォーム事業 の継続はできないか

会派 日本共産党

佐々木 隆 一 議員



後の当事業の継続については、一般財源事業であることから、市の財政事情を勘案しながら、地域経済の推移を注視し、判断したい。県への働きかけについては、他市町村との事もあり、今後の検討としたい。

**質問** 県と本市のリフォーム助成事業は、多くの市民や、大工さんなど業者から大変喜ばれている。本市では独自のパンフレットを作り、きめ細かな取り組みで県内でも突出した需要があったと思われる。県の補助で90億円、市町村と合わせると150億円という試算が出ており、この事業は沈滞する地域経済の活性化に大きく貢献したといえる。

**答弁** この施策の事業効果・経済効果は非常に大きい。今

市民から喜ばれる事業はぜひ継続していただきたい。県が創設した制度であるが、全国に拡大している。県の事業も継続するよう働きかけていただきたい。

## 災害時要援護者避難 支援プランの進め方は

会派 無所属

渡 部 聖 一 議員



後の当事業の継続については、一般財源事業であることから、市の財政事情を勘案しながら、地域経済の推移を注視し、判断したい。県への働きかけについては、他市町村との事もあり、今後の検討としたい。

**質問** 家畜の口蹄疫対策について、宮崎県で口蹄疫の感染が広がっており、地域経済や市民生活に大きな影響を与えている。重要な事は口蹄疫を抑え、拡散させないことである。感染原因の一つと考えられる輸入飼料への依存からの脱却、効率優先でなく、家畜の健全な育成と安全な牛乳や食肉の供給などを軸にした、政策の見直しが必要ではないか。本市としても県やJA、農業共済組合など、関係機関と連携して、万一の感染拡大に備えた対策をとる必要があると思うが。

**答弁** 県は5月24日に「口蹄疫対策危機管理部」を設置、本市では5月26日に「口蹄疫対策室」を設置し、防疫対策を強化している。農協の畜産部会などを通じ、さらなる防疫対策の徹底を周知していく。

また、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、重度障がい者に助成しているが、生活困窮などで設置できない場合が予測されるため、助成対象の拡大を早めに検討していく。

**質問** 防災意識啓発の取り組みと、災害時要援護者避難支援プランの具体的な進め方は。

**答弁** 総合防災訓練に加え、同報系防災行政無線を活用した沿岸部一斉の津波避難訓練や情報伝達訓練のほか、児童・生徒対象の「ぼうさい探検隊」などを開催する。

**質問** 住宅用火災警報器の秋田県普及率は東北最下位のようだが、本市の設置状況と設置促進の取り組み、助成制度の拡大について。

**答弁** 4月の調査では27%が設置済みで、来年5月31日までの設置義務の認知度は73%。市広報紙やケーブルテレビ、宅配講座などで住宅防火対策の重要性を広く周知するほか、町内会などの協力で共同購入を推奨しながら、設置を促進する。

また、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、重度障がい者に助成しているが、生活困窮などで設置できない場合が予測されるため、助成対象の拡大を早めに検討していく。

## 親しみのある 市議会に

岩城地域のJA女性部員が市議会を傍聴

一般質問2日目（6月7日）、岩城地域滝俣地区と下蛇田地区のJA女性部の皆さん12人が市議会を傍聴しました。

研修の一環として訪れた皆さんは、一般質問に立った議員と市当局のやり取りを、興味深そうに見つめていました。



敬を表すJA女性部の皆さんと、議長と副議長を訪問する

本会議はどなたでも傍聴できます。皆さんもぜひお気軽にお越しください。

傍聴席入り口は本庁舎5階となります。席には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

## 市民に代わって

会派 せいゆう会

佐藤 讓 司議員



**質問** このたびの一般質問は、「せいゆう会」に寄せられた要望・投書などを整理し、市民に代わって質問する。はたちの会支援について。

**答弁** 支援センター（紫水館敷地内）使用は6月より許可しており、補修についても進めている。道の駅・直売所の販売場所の確保については、前向きに検討してまいりたい。

**質問** ごみ袋の販売を町内会に認めることにより、ごみ収集責任と町内会の活動資金の増収につながると思うが。

**答弁** 地域の状況把握に努め、検討してまいりたい。

**質問** 温泉は、地球の恵みと言われている。猿倉温泉（3

号井）の泉質は、ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩泉PH8・4アルカリ温泉であり、アトピー・糖尿病・肝臓病などに効能があり、メタケイ酸は、超美肌形成の湯と言われている。鳥海山と本市の魅力として発信すべきではないか。

**答弁** 温泉の成分・効能などの特徴を全面に出し、PRに努めてまいりたい。



鳥海山鳥山  
から露風

**質問** し尿・浄化槽清掃料金を「にかほ市」（180円/1400円）並に見直す指導は、

**答弁** 料金積算の整合性、項目や単価などを注視するとともに、指導要綱の制定や協議の方法について進めてまいりたい。

**質問** 合併浄化槽の市設置型の整備について。

**答弁** 住民の方々に説明し、意向を確認した上で「市設置型合併浄化槽」の整備について検討してまいりたい。

## 市政運営と地域間格差の解消

会派 市民ネット

佐藤 竹 夫議員



**質問** 市長は、公約した事を重点的に速やかに実行していくと言われているので、市民の声に対応した施策の実行とリーダーシップに期待している。これまでの実績や行動をどう評価しているのか。また、地域間格差は解消されたと思っ

**答弁** 今年4月からは、市の組織機構の改革と総合支所の機能の充実、さらには各地域に精通した職員の任命などにより、地域間格差は少しずつではあるが解消されていると考える。

今後の市政運営にあたっては、財政規律を保ちながら、総合発展計画の各主要事業に加え、「雇用」「観光」「環境

「健康」「教育」の5つをキーワードに、安心・安全な生活基盤の確保と、生活機能の向上、さらには地域活力の向上を図ってまいりたい。

**質問** 市民要望に対応するためには、積極的な人事交流による、適材適所の人事配置が必要と考える。

**答弁** 適切な機構改革と適材適所の職員配置は、基本的に重要な要素と認識している。総合支所の強化と積極的な人事交流は、私の市政運営の公約としてきたところである。

**質問** 旧国療秋田病院跡地の整備は先送りされており、平成26年度に8億1千万円の返済期限が到来する。早期に活用プランを策定されないか。

**答弁** 平成26年度までの事業着手に向けた事業計画は大変難しい状況である。27年度からの次期総合発展計画に向けて、ゾーニングを基本に、議会や市民の意見を伺いながら、整備について検討してまいりたい。庁内体制については、部や課を越えた横断的な組織などについて検討する。

## 由利本荘市工業振興ビジョンについて

会派 フォーラム輝

今野 晃 治議員



**質問** 本市の製造業振興の指針、市工業振興ビジョンでは、「工業振興懇談会」の設置を起点として、具体的取り組みを推進するとしているが、今年度に入り地元企業の中には事業撤退や受注確保の見込みが立たず、希望退職を募るなど、大勢の離職者を出している所もある状況である。地元企業支援に即対応できるように体制を整えておくべきであり、対応が遅いのではないかと「懇談会」設置予定はいつになるのか。

**答弁** 「懇談会」は、各分野の製造業の意見交換および企業間連携の基盤づくりなどの場として、7月中に設置する。ビジョン策定の目的は、電子

部品・輸送機関連産業に参入する企業の支援や、食品加工衣料繊維、環境、医工連携など、製造業全般にわたる人材育成や、企業間連携による地域技術力ブランドの確立により、地域産業の発展を目指すものである。

**質問** ビジョンを遅滞なく推進するには、早期に参入する目標事業を定め、地元企業に参画判断材料を提示し、製造技術の導入や受注に至る支援体制の整備が急がれる。  
具体的な振興施策の立案と執行には、専門知識を持つキーマンが必要と考える。市長の所見は。

**答弁** 現段階で想定しているビジョン推進体制は、懇談会の中に「電子部品関連」「輸送機関連」「繊維産業関連」「企業誘致・共同受注推進関連」の5つの部会を設置する。これらの部会から意見・アイデアを集約し、問題解決や施策立案に役立てる。

必要によっては、専門知識を持つ国や県などのアドバイザー招聘も視野に入れながら推進する。

## 「福祉」「環境」について

会派 市民クラブ  
堀 友 子議員



**質問** 「介護をみんなで支え合おう」を合言葉に介護保険制度がスタートして10年、介護の社会化は図られたのか。市長の所見を伺いたい。

**答弁** 10年が経過し、その間、サービス事業所数やサービス提供量の増加により利用者の選択肢が増え、家族の介護負担の軽減となっていることは制度導入の成果と考えている。高齢者が高齢者を介護する「老老介護」や独居、認知症高齢者が増加してきていることから、サービスの量、質ともに介護事業全般の充実を図る必要がある。「人生85年時代」に向けて、要介護者にならないための介護予防重視、生涯現役の社会づくりの視点

も併せて必要と考えている。

**質問** 「障害」を「障がい」とひらがな表記に変更することについて伺う。人間の身体や心に対して「害」の漢字を使うべきではないと考えるが。

**答弁** 「害」という漢字表記についてはマイナスイメージがあり、県内の自治体でも約半数が広報などでひらがな表記に変更している。障がいのある方への思いを大切に、共生社会の実現を推進する観点から、今後公文書や広報などにおいて、可能な範囲で「障害」の「害」の表記をひらがなに変更したいと考えている。

**質問** 新設の「エコ対策推進室」の業務内容は。

**答弁** エコ対策やバイオエネルギーおよび自然エネルギーなどを所管する総合的な部署として、関係各課から情報収集にあたる。今後は広報活動や、イベントの開催など、情報発信にも努めてまいりたい。



## 高校の遠距離通学者への支援対策について

会派 政和会  
高橋 和 子議員



**質問** 地域の雇用情勢も厳しく、解雇、派遣切りによる失業者の増加、雇用保険の喪失、失業期間の長期化に伴う手待ち金の減少などで生活が困窮している現状である。下宿を含め遠距離通学者の保護者からは「何とかならないか」と悲鳴とも聞こえる声が出ている。一定の基準を設けながら支援を出来ないか。政治が手助けするのはこういう時だと強く思うが。

**答弁** 市外や県外の高校に通学したり、下宿を余儀なくされている生徒もあり、均等の確保を考えた場合、一部に支援措置を講じることは難しい。奨学金などの周知を図り、側面から支援していきたい。

**質問** 口蹄疫の対策について、初発の発生がどこで、何が原因で、どういう媒体によって、どういう経路で侵入したのか、関係者の一番知りたい情報である。また、発症した場合を想定した対策マニュアルも早急に作成するべきと思うが。

**答弁** 感染源、ルートは明らかになっていない。口蹄疫対策マニュアルは作成中である。広報、ケーブルテレビなどで正確な情報提供を行い、防疫対策の徹底を図る。

**質問** 最終処分場の埋め立て配分について、本庄清掃センターから排出する焼却灰を矢島島海清掃センター最終処分場に運ぶ計画があるが、運搬は1日何回か。運搬する県道70号線はのり面が崩れ、土のうを積んでいる所があり、市道伏見上原線は狭隘<sup>きょうがい</sup>な所が多く、大変危険である。安全対策を十分とるべきと思うが。

**答弁** 運搬回数は1日2回ないし3回を予定している。道路は狭隘な所があり、安全対策を万全にする。

栄誉

永年勤続議員表彰

本市議会から3人が表彰

第86回全国市議会議長会定期総会が5月26日、東京都で開催され、永年にわたり市政の振興に尽力された議員の表彰が行われました。

本市からは次の方々が表彰されています。

(敬称略)

正副議長在職4年以上

井島 市太郎

齋藤 作圓

在職10年以上

佐藤 勇

齋藤 作圓



左から佐藤勇議員、井島市太郎議員、齋藤作圓議員

報告

(仮称)文化複合施設整備特別委員会

大船渡市・リアスホールを視察



担当者から説明を受ける各委員

(仮称)文化複合施設整備特別委員会では、岩手県大船渡市民文化会館・市立図書館(リアスホール)への視察研修を5月7日、当局と合同で行いました。一昨年11月には、オープンを直前に控えた同施設を訪れましたが、今回は、主に施設の管理運営面を視察。施設内を見学した後、オープンに向けたイベントの実施や、職員などの人身体制、各種管理業務の委託内容などの説明を受けました。

同施設は、設計段階で市民の意見が反映され、管理運営面でも市民との対話が重視されています。本市の(仮称)文化複合施設完成まで1年余り。大変意義のある視察となりました。



市ホームページからどうぞ  
URL: <http://www.kaigiroku.net/kensaku/yurihonjo/yurihonjo.html>

会議録検索システム

市議会議録の検索システムが、市ホームページから利用できます。過去の一般質問などの内容を、発言者やキーワードで検索できますので、皆さんご利用ください。

議会の動き

4月

8日\* 議会報編集特別委員会  
15日\* 16日\* 東北市議会議長会定期総会

16日\* 議会報編集特別委員会  
\* 議会議員政治倫理審査会

21日\* 長野県飯山市議会行政視察来市

\* 香川県高松市議会行政視察来市

27日\* 会派代表者会議

\* 市当局と議会との連絡会議

28日\* 山形県酒田市議会行政視察来市

5月

7日\* (仮称)文化複合施設整備特別委員会行政視察

(岩手県大船渡市) 10日\* 議会議員政治倫理審査会

18日\* 全員協議会

20日\* 国道398号改良整備促進期成同盟会

24日\* 議会運営委員会  
26日\* 全国市議会議長会定期総会

27日\* 全国市議会議長会天皇陛下拝謁・皇居参観  
\* 議会議員政治倫理審査会

31日\* 第2回定例会本会議 (開会)

6月

4日\* 第2回定例会本会議 (一般質問)

7日\* 第2回定例会本会議  
\* 議会報編集特別委員会

8日\* 9日\* 各常任委員会  
\* 議会運営委員会

11日\* 議会議員政治倫理審査会

\* 会派代表者会議  
17日\* 議会運営委員会

\* 第2回定例会本会議 (閉会)

\* (仮称)議会改革検討委員会

23日\* 各期成同盟会等総会並びに合同整備促進大会

\* 議会改革委員会

29日\* 議会報編集特別委員会



# 議長公務・交際費 報告

(平成22年4月～6月分)

市議会では、積極的な情報公開で透明性のある市議会運営を目指し、議長の公務と交際費の内容を、市民の皆さんにお知らせします。

本会議(5月31日)を進行する渡部議長

## 公務報告(4～6月)

月	日	行 事
4	1 木	議事事務局辞令交付
4	5 月	本荘東中学校入学式
4	6 火	上川大内小学校入学式 大内中学校入学式
4	7 水	八塩小学校入学式
4	8 木	西目小学校入学式
4	12 月	新入社員合同歓迎会
4	14 水	本荘さくらまつり山開き
4	15 木	第62回東北市議会議長会定期 総会(福島県会津若松市)
4	16 金	西滝沢水辺プラザ竣工修祓式・ 開会セレモニー・竣工式典
4	17 土	香川県高松市議会行政視察・ 市長議長へ表敬訪問
4	21 水	長野県飯山市議会行政視察
4	23 金	鳥海山矢島口山開き
4	24 土	大内ライオンズクラブ結成25 周年記念式典・祝賀会
4	27 火	市議会会派代表者会議 市議会と市当局との連絡会議 市水田農業推進協議会総会
4	28 水	本荘由利総合技能センター総会 山形県酒田市議会行政視察 市芸術文化協会連合会表彰式 並びに祝賀会

月	日	行 事
5	10 月	市老人クラブ連合会本荘地区総会
5	11 火	市観光協会総会
5	13 木	本荘由利電気工事協同組合総会
5	16 日	子吉川ガニまつり開会行事
5	18 火	市議会全員協議会 市商工会総代会
5	20 木	市体育協会理事・評議員会
5	21 金	市管工事協同組合総会
5	24 月	市議会議会運営委員会
5	26 水	全国市議会議長会総会(東京都)
5	27 木	天皇陛下拝謁・皇居参観(東京都)
5	28 金	本荘地域町内会長協議会設立総会
5	29 土	大内地区親子交流会 「あつまれ!げんキッズ」
5	31 月	市議会定例会本会議(開会)
6	1 火	丁岳山開き 本荘由利森林組合総代会
6	4 金	市議会定例会本会議(一般質問)
6	5 土	本荘矢島総会
6	6 日	小友地区敬老会 北内越地区敬老会
6	7 月	市議会定例会本会議(一般質問)
6	8 火	市議会定例会常任委員会
6	9 水	
6	11 金	市議会会派代表者会議

月	日	行 事
6	12 土	全日本学童軟式野球大会 本荘由利地区予選開会式 前川伴氏瑞宝双光章受章祝賀会
6	17 木	市議会議会運営委員会 市議会定例会本会議(閉会) (仮称)議会改革検討委員会
6	18 金	由利地域敬老会
6	19 土	本荘地区保育園 こどもフェスティバル
6	23 水	各期成同盟会等総会・ 合同整備促進大会 議会改革委員会
6	24 木	全国高校総体市実行委員会設立 総会・第1回総会
6	25 金	市暴力追放推進協議会総会 西目高校同窓会総会
6	26 土	西目漁港まつり 県消防大会
6	27 日	由利本荘ふるさと会連合会集い (東京都)
6	29 火	市交通安全対策協議会総会

## 交際費報告(4～6月)

(円)

月	日	支 出 内 容	支出額
4	14 水	本荘さくらまつり山開き懇親会会費	1,000
4	15 木	由利本荘市建設業協会総会懇親会へ寸志 (土田副議長代理出席)	3,386
4	21 水	香川県高松市議会行政視察へ寸志 長野県飯山市議会行政視察茶菓子代	3,823 1,304
4	24 土	大内ライオンズクラブ結成25周年記念式典 祝賀会へ御祝い	10,000
4	28 水	山形県酒田市議会行政視察茶菓子代 市芸術文化協会連合会表彰式祝賀会へ御祝い	2,160 3,382
5	11 火	市観光協会総会懇親会へ寸志	3,386
5	13 木	本荘由利電気工事協同組合総会懇親会へ寸志	3,386
5	16 日	東京東由利会定例会へ寸志 (長沼議員代理出席)	10,000
5	18 火	市商工会総代会懇親会へ寸志	3,382
5	20 木	市体育協会理事・評議員会懇親会へ寸志 日本母親大会・秋田県母親大会へ協力金	3,382 10,000
5	21 金	市管工事協同組合総会懇親会へ寸志	3,382
5	27 木	(社)市シルバー人材センター創立20周年記念 祝賀会へ御祝い (佐藤産業経済常任委員長代理出席)	10,000

(円)

月	日	支 出 内 容	支出額
5	28 金	本荘地域町内会長協議会設立総会懇親会会費	2,000
5	30 日	子吉地区敬老会へ御祝い(佐藤賢一議員代理出席)	3,340
6	1 火	本荘由利森林組合総代会懇親会へ寸志	3,386
6	5 土	矢島地域敬老会へお祝い(土田副議長代理出席) 本荘矢島会総会懇親会へ寸志	3,200 3,382
6	6 日	小友地区敬老会へお祝い 北内越地区敬老会へお祝い	3,380 3,380
6	12 土	前川伴氏瑞宝双光章受章祝賀会会費	5,000
6	16 水	原水爆禁止国民平和実行推進協力金	10,000
6	18 金	由利地域敬老会へお祝い	3,360
6	25 金	西目高校同窓会総会懇親会へ寸志	5,000
6	27 日	由利本荘ふるさと会連合会集い懇親会へ寸志	20,000

### 甲事 (円)

件 数	1 件
支出額	30,000

### 各月の交際費合計(甲事除く) (円)

	4 月	5 月	6 月
件 数	7 件	10 件	10 件
集計額	25,055	52,258	60,088

# 常任委員会報告(Q & A)

上程（議事日程に組み入れ議題とし、審議の対象とすること）された議案は各常任委員会および（仮称）文化複合施設整備特別委員会に付託されます。各委員会では、議案及び報告事項について当局より説明を受けるなど慎重に審議されています。

## 教育民生常任委員会

**Q** 国保税の応益割（均等割と平等割 医療分のみ）と応能割（所得割）の比率と税額の比較は。  
**A**、おおむね50対50を基本に算定しますが、応益割が高い場合は、特に低所得者層では負担感が増しますが、所得に応じて軽減制度があります。一方、応能割を高くしすぎると課税限度額が設定されているため高額所得者の負担増にはならず、中間所得層の負担が大きくなります。

**Q** 災害時要援護者避難支援プランの制度の内容と今後のスケジュールは。  
**A**、災害時に家族などの支援が困難で助けを必要とする重度の障がい者や、ひとり暮らし高齢者などが、災害時に地域の中で支援を受けられるようにするため、支援体制を確立し、

地域内で安全・安心に暮らすことができるよう、民生・児童委員、自治会などの協力を得て、災害時要援護者台帳を整備し、支援するものです。5月に支援プランを策定した後、該当者リストおよび周知パンフレットを作成し、町内会、民生委員などに趣旨の説明を行い、協力要請するとともに、社会福祉協議会などと協議を行います。また、広報紙やホームページなどに掲載し、ダイレクトメールを発送します。返送回



昨年本市で行われた県総合防災訓練

## 総務常任委員会

**Q** 合併前は旧5町、合併後は「みなし要件」により全市適用となった過疎地域特措法極めて有利な起債として活用できる、この「過疎地域特措法」の改正概要を伺いたい。  
**A**、平成22年度から27年度まで6年間、拡充延長となりました。過疎債が住民の交通手段や地域医療の確保などのソフト事業にも拡充適用され、認定ことも園、図書館、太陽光等自然エネルギー利用施設など対象の追加もなされます。過疎地域自立促進市町村計画

への事業掲載が許可条件となり、市議会の議決が必要となりますので、9月定例会への提案を予定しております。  
**Q** 4月から本格始動した定住自立圏関連事業分として、増額するようだが、伺いたい。  
**A**、地域振興課の新設による所管替えもありましたが、当初分に6月補正分約5552万円を増額し、約1億981万円となります。補正分の内容は、遠隔地域

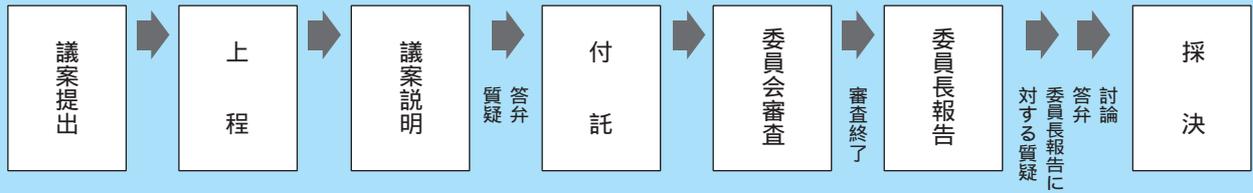
用再来受付システム事業、防雪柵設置事業（岩城、宮ノ下線）、市道局部改良事業（由利、寺田沢口線）（西目、若松町11号線）、雪崩防止柵設置事業（東由利、高村線）、西目方面線再編事業、共同受注プロモート活動事業、観光関連情報発信事業、図書館ネットワーク化推進事業、図書環境整備事業（書架、照明器具導入）、冬期道路交通確保事業と広範にわたっております。



遠隔地域用再来受付システム事業で地域格差のない医療サービスを

収分を整理した後、要援護者名簿を作成し、来年4月には台帳を配布する予定です。

～ 委員会付託の流れ～



建設常任委員会

産業経済常任委員会

**Q** 上水道料金の改定について、地域協議会に事前説明をするべきでなかったか。  
**A**、議会の議決を得ていない事を超えて説明することは考えておりませんでした。合併後の大事業と思っております。市民の皆さんに安全安心な水を供給する事業にご理解をいただきたい。

**Q** 料金が下がる地域に激変緩和は無くてもよいと思うが。  
**A**、料金設定は各地域の投資の背景や経緯がありました。

**Q** 集落支援員設置モデル事業について伺いたい。  
**A**、高齢化世代の増加、地域産業の停滞、集落機能の低下などで農村集落の活力が低下しないように、市民の主体性を柱にその集落の実情や意向に沿った仕組みをつくるためのモデル事業です。  
 今年度は、集落の状況把握と点検、伝統文化などの継承や特産品開発をはじめとする活性化・自立に向けた施策の実践などに取り組み、来年度以降の本格設置に向け、検証

**Q** 区画整理事業の進捗状況について伺いたい。  
**A**、当初の完成予定は、平成22年度になっていましたが、「公債費負担適正化計画」に基づき、総合発展計画主要事業の見直しを行い、事業費の一部を先送りしております。

企業会計としては、今を原点に、新しい水道事業を振り出しに戻って計算したところ、3分の1ずつの積み上げによって、目標の収入にたどりつくことが平等と考えました。

するものです。  
**Q** 今後の観光誘客の促進について伺いたい。  
**A**、市内出身者の著名人を観光大使として委嘱するほか、農業体験を含めた観光ツアーの企画や首都圏に年2回、仙台圏には年3回の観光PRおよび物産販売などを予定しています。今後も市の特産品の販路拡大、農商工の有機的な連携による観光ブランド化を推進してまいります。

ただし、事業効果を促進するために由利橋供用開始に併せて、本年度は、地区内の物件移転をすべて完了させ、道路は仮橋付近まで整備を進めるために調整をしているところです。  
 残事業は、公園整備と出来形確認測量などになり、今後は、地権者と町内再編の話し合いに十分な時間をとり、平成25年度までに換地処分公告ができないか、期間延長について協議しております。

**Q** 現在建設中の(仮称)鳥海高原矢島交流センターについて伺いたい。  
**A**、現在の矢島スキー場スキーハウスに代替施設となるもので、多目的ホール・体験ホール・展示室・厨房・管理室などを建築予定であり、今年4月に着工され、8月10日の完成予定です。  
 完成に合わせ、現在の発券売場および付属の放送・照明施設を同施設に移設する予定になっていきます。



「由利橋通線」は由利橋供用開始に合わせて整備



順調に工事が進む矢島交流センター



## 条例、予算など36件を可決

# 一般会計補正予算 5億8,483万9千円増額

《条例関係》国民健康保険条例の改定など

平成22年6月定例会は5月31日から6月17日までの日程で開催されました。今定例会への提出議案は、人事案件2件、条例関係11件、各会計補正予算19件、その他2件の計34件のほか、追加人事案件1件、委員会発案1件が上程され、審議の結果、すべて原案どおり承認・可決しました。また、陳情2件のうち1件を採択、1件を不採択としました。

### 一般会計

一般会計の歳入歳出それぞれ5億8483万9千円を増額し、総額を479億6483万9千円とするもの。

### 補正予算の主なもの

総務費  
職員研修費

317万8千円

第三セクター経営調査業務委託事業

50万円

西目線有償運送試験運行事業【定住自立圏関連事業】

424万円

コミュニティ活動促進助成事業

220万円

モントルージャズフェスティバル出演補助金

50万円

民生費

難聴児補聴器購入助成事業

58万4千円

地域密着型施設介護施設開設準備経費補助金

2160万円

乳幼児安全安心対策事業

400万円

衛生費

岩城最終処分場追加地質調査業務委託料

165万円

大内最終処分場（向山処分場）閉鎖に伴う調査設計業務委託料

586万6千円

遠隔地地域用再来受診受付システム事業

2163万2千円

農林水産費

農村集落元気づくり事業

1012万5千円

農業夢プラン応援事業費補助金（畜産）

160万円

大谷地区農道改良調査委託料

286万円

由利・東由利地域治山事業費

1025万8千円

商工費

本荘工業団地ガス供給施設設備利子補給

546万円

観光関連情報発信事業

1551万9千円

【定住自立圏関連事業】

177万円

土木費

住宅リフォーム資金助成事業

6000万円

冬季道路交通確保事業

380万円

【定住自立圏関連事業】

1960万円

教育費

小中学校耐震化実施設計費

576万7千円

特色ある教育活動事業

174万6千円

【定住自立圏関連事業】

300万円

図書館ネットワーク化推進事業

174万6千円

【定住自立圏関連事業】

300万円

図書環境整備事業

【定住自立圏関連事業】

270万円

災害復旧費

市道鶴潟水沢線地滑災害復

旧工事 3000万円

公共土木施設単独災害復旧

事業 738万6千円

公債費

民間資金繰上償還

2億9940万5千円

特別会計

(主なもの)

下水道事業

人事異動に伴う人件費の調

整と既設管の敷設替え工事に

係る設計委託費

126万円

簡易水道事業

人事異動に伴う人件費の調

整と工事費から補償費への組

替え

412万1千円

スキー場運営

旧発券売場の解体工事費と

放送設備等の移転経費

274万2千円

人事案件

人権擁護委員の推薦

工藤 剛氏(川口)

固定資産評価審査委員会補欠委員

斉藤 光一氏(中帳)

教育委員会委員

三船 文夫氏(鳥海町小川)

条例関係

(主なもの)

市職員の勤務時間、休暇等

に関する条例及び市職員の

育児休業等に関する条例の

一部改正

地方公務員の育児休業等に

関する法律の一部改正に伴い、

条例の一部を改正するもの。

市税条例の一部改正

地方税法などの改正に伴い、

条例の一部を改正するもの。

市過疎地域自立促進のため

の固定資産税の課税免除に

関する条例の一部改正

過疎地域自立促進特別措置

法に基づく、固定資産税の課

税免除にかかわる減収補填措

置の適用期間延長に伴い、条

例の一部を改正するもの。

市国民健康保険条例の一  
部改正

平成22年度の国民健康保険

税率の改定に伴い、条例の一

部を改正するもの。

市PR館おうち条例の一

部改正

市PR館おうちの管理に

ついて、指定管理者制度の導

入を可能とするため、条例の

一部を改正するもの。



条例の一部を改正した「市PR館おうち」

市火災予防条例の一部改正

総務省令の一部改正および

個室型店舗における外開き戸

の自動閉鎖措置に関する規定

を整備するため、条例の一部

を改正するもの。

市上水道事業給水条例の一

部改正

水道料金を改定するため、

条例の一部を改正するもの。

契約関係

道川地区地域水産物供給基

盤整備第15103号工事

請負変更契約の締結

道川漁港北防波堤先端部分

の消波工について、流砂の解

消など防波堤の安定を図るた

め、仮巻止めを本巻止めに変

更し、契約金額を1288万

9800円増額して1億91

38万9800円に変更する

もの。

物品(小型動力ポンプ付積

載車)購入契約の締結



この小型動力ポンプ付積載車と同型のを配備

由利、東由利および鳥海の

各支団に配備する小型動力ポ

ンプ付積載車3台の購入につ

いて、指名競争入札の結果、

株式会社タカギと、2303万

7千円で契約を締結するもの。

陳情

今定例会には、陳情2件が

上程され、次のように審査さ

れました。

採択

・協同労働の協同組合法仮

称)の速やかな制定を求め

る意見書提出についての陳

情

(日本労働者協同組合 ワー

カースコープ 連合会センタ

ー事業団秋田事業所所長 田

中寿敬)

不採択

・由利本荘市議会議員の条例

遵守と議事に利害を有する

議員の除斥を求める陳情

(松ヶ崎 黒田 勉)

意見書

今定例会で次の委員会発案

による意見書案が可決され、

関係機関に送付しました。

委員会発案

・協同労働の協同組合法仮

称)の速やかな制定を求め

る意見書

## 第2回市議会臨時会

(7月9日)

提出された案件は、条例関係1件、契約関係3件、補正予算2件でいずれも原案可決となりました。

### 条例関係

市浄化槽施設条例の一部改正  
浄化槽施設の新たな設置に

に伴い、条例の一部を改正するもの。

と1億9002万1650円で契約を締結するもの。

補正予算の主なもの  
(一般会計)

地域力創造アドバイザー事業  
352万3千円

### 契約関係

子吉川由利橋下部工事委託契約

備工事請負契約  
過に關する設備の機械整備工事を理水化学(株)仙台支店とそれぞれ契約するもの。

地域公共交通情報提供事業  
140万円

いわき市立美術館所蔵作品  
運送・展示経費  
94万5千円

由利橋架け替え事業において、子吉川右岸に橋台を構築する工事で、河川管理者である国土交通省東北地方整備局

備工事を理水化学(株)仙台支店とそれぞれ契約するもの。  
滝俣：1億8585万円、  
南沢：1億5277万5千円

交付金事業  
1290万8千円

YBネット電源ユニット修繕およびケーブル移転経費  
199万5千円

る

滝俣：1億8585万円、  
南沢：1億5277万5千円

家畜防疫対策事業(口蹄疫対策)  
104万4千円

(特別会計)  
YBネット電源ユニット修繕およびケーブル移転経費  
199万5千円

## 関係私企業の請負契約などの状況報告

市議会議員政治倫理条例の規定に基づき、市長から5月31日付けで関係私企業などと締結した10万円を超える請負契約などについて報告がありましたので、下記のとおり公表します。(平成22年2月～4月分)

関係する議員	高橋和子			
請負人の氏名	秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 阿部和雄			
契約年月日 または支払い年月日	事業名	金額	内容	契約期間 または物品納入期日
平成22年 2月25日	物品などの 購入	1,397,210円	消耗品など物 品の購入(2 月分)	平成22年 2月2日～25日
平成22年 3月31日		2,130,901円	消耗品など物 品の購入(3 月分)	平成22年 3月3日～31日
平成22年 3月12日	除雪機修繕	348,894円	除雪機修繕 オーガ再生修 理、備品クロ ーラー交換	平成22年 3月15日～25日
平成21年 4月1日	市食の自立支 援事業業務委 託契約 (単価契約)	11,567,700円	在宅の一人暮らし高齢者に対し、配食弁当を調理し、安否確認をしながら配布する。	平成21年 4月1日～ 平成22年 3月31日
	市生きがい活 動支援通所事 業業務委託契 約(単価契約)	2,657,500円	閉じこもりがちな高齢者に対し、通所により日常動作訓練や趣味活動に関するサービス提供。	
	市生活管理指 導員派遣事業 業務委託契約 (単価契約)	175,780円	社会適応が困難な高齢者に対し、ホームヘルパーを派遣し、家事援助等を行う。	
	要介護・要支 援認定調査業 務委託契約 (単価契約)	607,950円	介護保険法に基づく調査対象者に対し、要介護等認定調査を実施する。	
	介護予防支援 業務委託契約 (単価契約)	2,616,640円	介護保険法に基づく要支援1・2の対象者に対し、介護予防サービス計画の作成などを行う。	
	ゆり高原ふれあ い農場の資材な どの単価契約	2,006,595円	ゆり高原ふれあい農場の飼料、肥料、薬剤などの単価契約。	
	大内畜産セン ター草地用肥 料単価契約	405,000円	大内畜産センター草地用肥料購入の単価契約。	
平成21年 7月1日	草地用肥料購 入単価契約	324,000円	草地用肥料の 購入の単価契 約。	平成21年 7月1日～ 平成22年 3月31日

単価契約は、契約期間中の支払い総額

## 市議会議員政治倫理審査会

# 審査報告

議員に關係する私企業などと市の間で締結された10万円を超える請負契約など（平成21年11月分～平成22年1月分）について、市長から2月23日付けで議長へ報告があり、その内容は3月市議会定例会において議事に報告されるとともに、市議会だより第20号（5月1日発行）でも市民に公表されました。

その内容報告を受け、7人の市議会議員（本間明議員、佐々木勝二議員、今野晃治議員、井島市太郎議員、作佐部直議員、堀川喜久雄議員、渡部専一議員）の連署により、高橋和子議員が市議会議員政治倫理条例に違反しているという趣旨の審査請求書が、3月19日付けで、議長に提出されました。

議長から審査を付託された「市議会議員政治倫理審査会」では、計4回の審査会を開催して審査請求の適否や内容の確認、審査請求対象議員の弁明のほか、政治倫理基準の違反行為の存否を審査し、6月11日付けで「審査結果報告書」を議長に提出しましたので、審査結果の内容を皆さんにご紹介します。



違反行為の存否について審査（5月27日）

### 審査結果の内容

高橋和子議員に関して、政治倫理上の認識は認められず、努力義務の履行は判断できないとし、過半数委員（委員長を除く）の判断により、政治倫理条例に抵触し、「注意」勧告としました。

さらに、「現行の『由利本荘市議会議員政治倫理条例』の遵守事項を遵守し、高潔性を明らかにするとともに、市民の信託を受けて活動する市議会議員として行動することを自覚し、さらに市議会のもとで名誉と品位を守り、市民の信頼を回復する措置を講ずること」を要望しました。

## 審査結果についての高橋和子議員の弁明書

6月23日提出

条例11条は、「市議の利益相反的行為の防止」及び「市議が關係する企業と競合する他企業との競争の公平の確保」を立法趣旨とするものと解します。問題にされている市と農協との取引は、前記11条の立法趣旨に反しておらず、私に対する注意処分は不当だと考えます。以下理由を述べます。

私には農協の業務に関する決定に影響を与える権限も実質的影響力もありません。私と農協の關係は、夫が農協の非常勤理事を務めているという二重に間接的な關係で、私が直接に農協の決定に影響を与えることは不可能です。農協での夫の立場も非常勤理事に過ぎず、個々の具体的な契約の締結の可否には関与しておりません。従って、利益相反の見地から見た問題はないことがご理解いただけると思います。競合する他の企業との競争条件の公平という見地から見ても、今回の契約の場合、市内の企業の中に農協と競争關係に立つような業者はいないことが分かっていただけだと思います。

倫理条例が決まった時点で、私は夫に、条例が制定されたということと内容を説明しました。市議としての私にできることはその他にはないと考えたからです。今回の注意処分の対象は努力義務を果たさなかったという作為義務違反の不作为を理由とするものです。弁護士にも相談しましたが、不作为を理由に処罰する場合には、作為義務の内容（何をすべきだったか）を具体的に示さなければならないと思います。審査委員会の席上、私は「どのような努力をすれば努力義務を尽くしたことになるのか具体的に教えてほしい」とお尋ねしましたが、どなたからも明確な回答はありませんでした。

同様のことが繰り返されないよう、次の措置をとっていただくよう提案します。

- イ 審査会に法律家を含む第三者からなる諮問委員会を設け、審査会の結論を出すに当たっては同委員会の意見を尊重すること。
- ロ 現行倫理規定の見直しを行い、少なくとも本件のような取引が規制の対象外であることを明文化する条項の改正を行うこと。

## 議員自らの手で市議会改革を

# 「議会改革委員会」発足



委員会は毎月開催することに決定(6月23日)

### 議会改革委員会

(7月20日現在)

- 委員長 村上 亨
- 副委員長 佐藤 勇
- 委員 伊藤 順男
- 佐々木慶治
- 佐々木勝二
- 佐藤 譲司
- 伊藤 岩夫
- 佐々木隆一
- 渡部 聖一
- オプザーバー
- 議長 渡部 功
- 副議長 土田与七郎

各会派からの代表者と無所属議員で構成する「議会改革委員会」が、9人の委員で6月23日に発足しました。これは会派の壁を越え、議員自らの手で、本市議会が抱える課題について検討し、改革していこうとするものです。

議員定数・報酬の問題、一問一答方式の採用や市議会議員政治倫理条例の運用など、本市議会が抱える課題の解決はもちろんのこと、議会基本条例の制定なども視野に入れ、取り組むこととなります。

委員会では、単なる議論に終始するのではなく、市民から信頼され、親しみやすい市議会を目指し、実践・行動を第一とすることを、委員はもちろん全議員の共通認識として、改革を進めてまいります。

## 市民の声

### 「今、農業に何が！」



由利地域

庄司 和夫

今の農業状況については、皆さんのご承知のごとくでございますが、心配な事がひとつ、私の中にあります。

現在、私は農業委員を仰せつかっておりますが、減反について一言申し上げます。今年は減反確認が認められても、来年からは認められない事も有ることです。もし認められない事になった場合、農業委員の立場で考えると、非農地になる可能性もあると思われるからです。このような考え方は私だけでしょうか。

このような農業の大きな転換点を迎え、今後、会議などさまざまな機会で議論をしてまいりたいと思っておりますが、政権が変わるたびに変わる農業政策に翻弄され続け、将来に希望の持てない農業に見切りを付け、後継者の育たない高齢化した農家の現状を、議員の皆さんはいかが思われますか。

非常に厳しい現実の中ですが、私は「いつかは」という思いで、今も、そしてこれからも農業を続けるつもりです。

## 編集後記

「若ノ海」という力士をご存知だろうか。井川町出身で昭和30年代、小兵ながら猛げいに耐え、小結までつとめ、自分の得意の型になると、しぶとく上位の大型力士を苦しめた異色の力士であった。野球賭博事件で国技である相撲界が、土俵際(財)に立たされている。(財)日本相撲協会ホームページ(組織概要)には、「相撲道の維持発展と国民の心身向上に寄与する」とある。ルールに則(と)つての処罰と、社会的制裁は当然のことではあるものの、ファンとしては、臆(おそ)えを出し、仕切り直し“を”し、自己検証したフェアな姿を国民の前に見せてほしい。

この6月、議会改革委員会が発足した。どのような結論になるのか。こちらも自己検証し、市民にも理解される改革が望まれる。